



ReBit が目指すもの

# LGBT 問題の今を変える、10 年後を 創る

ReBit は LGBT を含めた全ての子どもが、ありのままの自分でオトナになれる社会を目指す NPO 法人です。

団体名には「少しずつ(Bit)」を「何度でも(Re)」繰り返すことにより社会が前進してほしい、という願いが込められ、LGBT の人も LGBT でない人も、大学生など 10～20 代を中心に約 300 名が参加しています。

## LGBT とは

**L** レズビアン (女性同性愛者)

**G** ゲイ (男性同性愛者)

**B** バイセクシュアル (両性愛者)

**T** トランスジェンダー (性同一性障害を含む身体と心の性が一致しない人)

4 つ頭文字からなる、セクシュアルマイノリティ(性的少数者)を指す言葉です。

この他にも多様なセクシュアリティが存在します。

Voice - LGBT の子供たちの声



特定非営利活動法人 ReBit 代表理事

## 薬師実芳

平成元年生まれ。

早稲田大学商学部卒業。

大学在学時に ReBit の前身となる「早稲田大学公認学生団体 Re:Bit」を立ち上げ、2014 年に特定非営利活動法人 ReBit を設立。

行政/学校/企業等で LGBT に関する研修や、キャリアカウンセラーとして LGBT 就労支援を行う。

2014 年より新宿区自殺総合対策若者支援対策専門部会委員、2015 年より世田谷区第二次男女共同参画プラン策定検討委員、山形大学非常勤講師を務める。

著書に『LGBT ってなんだろう？ーからだの性・こころの性・好きになる性』（合同出版）等。

青年版国区民栄誉賞といわれる「人間力大賞」受賞。

代表あいさつ

# すべての子どもが、ありのままでオトナ になれる社会へ

僕には夢があります。

10年後を生きる子どもが、誰かと違うことをあたりまえに言えたらいい。

ひとりひとり違うことがあたりまえで、かつ、それがとても素敵だと認識されたい。

きっとその社会では、誰かと違うことで、自己否定することはないでしょう。

きっとその社会では、誰かと違うことで、「拒絶されるかも」と心配しないでしょう。

きっとその社会では、どんな特性を持つ子どもも、ありのままでオトナになれているでしょう。

# すべての子どもに、すべてのオトナから 届けたい

今、LGBTであることに悩み、毎晩布団の中で涙していた小学生の僕にあえるとしたら、行って

あげたいことばがあります。

「ひとりじゃないよ」と。

「あなたのままでオトナになれるよ」と。

「大丈夫、生きていけるよ」と。

そんな簡単な言葉だけど、だれにもいってもらえなくて、自分でも信じられなくて、見えぬところで泣いている子どもはまだこの社会に、すべての学校に、いるのではないのでしょうか。

僕らは、そのことばを待つ子どもたちに、届けたい。

また、そのことばを届けられる大人を増やしたいと願います。

すべての子どもがありのままの自分を肯定してオトナになれる社会を実現するため、 ReBit は

「少しずつ (Bit) を何度でも (Re) 」繰り返して前進し続けます。

特定非営利活動法人 ReBit 代表理事

薬師実芳

仲のいい男の子たちに、

先生が「ホモか！」と言って

クラスのみんなが笑った。

私も一緒になって笑ったけど、

自分のことを笑っているようで  
痛かった。

就職面接でカミングアウトしたら、  
帰れと言われた。  
帰りの電車で、ただただ泣いた。

25歳・トランスジェンダー

おばあちゃんから

「結婚して幸せになりなよ」と

幸せを願われるたび、

ゲイの自分は

幸せになれない気がした。

21歳・ゲイ

同性の男の子を好きになって

悩んでいたら、先生に

「なに冴えない顔してるんだ？

彼女でもつくらないと、

変な男に襲われるぞ」

と言われた。

先生にも

相談できないんだなって思った。

カミングアウトしてからも

「困った時にそばに

いれくれる人がいるなら、

その人が同性でも異性でも

いいんじゃない？」って

受け入れてくれたお母さん。

ありがとう。

履歴書の男女欄、  
どっちに丸をつけて  
いいかわからず、  
就活のスタート地点にすら  
立てなかった。

トランスジェンダー

•

ゲイで悩んでいることを、  
保健室の先生に相談した。

困った顔をしながらも

「相談してくれてありがとう」  
と言ってくれた。

次の日保健室に行ったら、  
LGBTの本を置いていてくれて  
学校に通えるようになった。

仲のいい男の子たちに、

先生が「ホモか！」と言って

クラスのみんなが笑った。

私も一緒になって笑ったけど、

自分のことを笑っているようで

痛かった。

就職面接でカミングアウトしたら、  
帰れと言われた。  
帰りの電車で、ただただ泣いた。

25歳・トランスジェンダー

•

## 想像しよう、私たちの10年後の未来





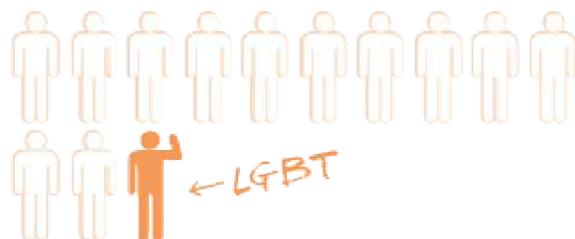








LGBTに取り組むべき4つの理由



約13人に1人という身近なLGBT

## 1 あなたの教室にも、LGBTの子どもが3人はいる

近年では個人の尊厳に深く関わる人権問題の一つとして扱われているLGBT。

日本では人口の7.6%※1がLGBT、つまりは約13人に1人と言われています。

たとえば、学校の40人クラスであれば約3人はLGBT。

日本の未成年者のうち169万人以上はLGBTということになります。

※1：2015年電通総研ダイバーシティラボ調べ



LGBTに関し適切な教育を受けられなかった生徒は約90%

## 2 約9割の子どもが、正しい知識を得ずに ままオトナになる

約 13 人に 1 人という身近な LGBT にもかかわらず、教育・社会保障・法律など、様々な制度から抜け落ち、日常生活でいないものとされがちです。

また、LGBT に関し適切な教育を受けられなかった生徒は約 9 割※2 にのぼり、LGBT について正しい知識を得る機会がないままオトナになります。

※2：ReBit アンケート結果より



自殺念慮を抱いたことがある  
性同一性障害者は70%

※自傷・自殺未遂を経験したことがある  
性同一性障害者は約30% ※4

## 3LGBT の子どもが「ありのままの自分」 で生きられない

性同一性障害者の約 70%が自殺を考えるとという深刻な事態を招いており※3、内閣府の「自殺総合対策大綱」にも懸念が示され、特に希死念慮が高まる時期は二次性徴期（小学校高学年～高校生）と言われています。

セクシュアリティ（性のあり方）は、進路・仕事・結婚・老後、その他ライフプランの選択や生き方に関わることです。自身のセクシュアリティを自他共に認められないことは、人間関係の障壁、将来への不安、自尊心の低下など、様々な困難につながります。

※3：新井富士美・中塚幹也他(2008) 性同一性障害の思春期危機について

※4 : 中塚幹也「学校保健における性同一性障害 : 学校と医療の連携」 : 日本医事新報

No.4521 : 60-64,2010



## 4LGBT の人も、LGBT でない人も 「LGBT 問題の当事者」だから

日常的に周囲から否定的な言動がある環境下では、「LGBT の自分が受け入れられるはずがない」

と諦め自己否定につながることもあります。また、周囲の LGBT でない人も「身近に LGBT の人

がいない」と思い、何気ない言動で傷つけてしまうことも少なくありません。

しかし、周囲に 1 人でも理解者がいれば、希死念慮を持つ LGBT の子どもは約 30%減ると言わ

れています。つまり、LGBT でない人も、LGBT 問題の当事者なのです。